

オイルゲージ交換

改 訂 履 歴

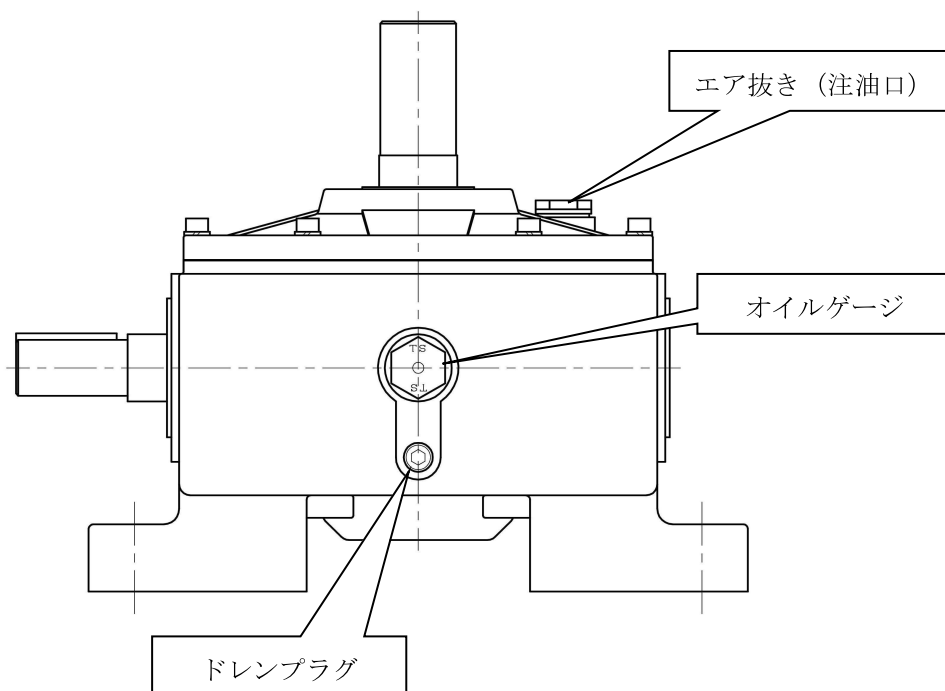
改訂数	年月日	改 訂 内 容	作成	承認
0	2021.10.13	初版	高橋	高橋

青木精密工業株式会社

手 順

1. 基本形状

LC型を基本とする作業手順とします。




2. 基本手順

オイルを抜いて行う作業

No.	工程名	工程内容	注意点	確認原票
1	排油	オイルが温かい状態で行うと排出しやすくなります。 特に冬場などは運転直後や空運転をしてから行うことをお奨めします。		
		エア抜きの穴をテープ等で塞いでください。 粘着性の高いテープが良いです。 ※エア抜き穴を塞ぐことで、この後のプラグを外す際に一気に排出されるのを弱めます。		
		排出口となるドレンプラグの下にオイルパン等の排油受けをセットしてください。		

青木精密工業株式会社

No.	工程名	工程内容	注意点	確認原票
		ドレンプラグを外してください。	オイルが熱い場合がありますので、やけどに注意してください。	
		機種型番により排出の勢いに違いがあります。 勢いがない場合、エア抜きのテープを剥がしてください。 排油に勢いがない場合、エアブローをエア抜き穴から吹き込むと出やすくなります。	エアブローでは噴き出し過ぎることもあります。ご注意ください。	
		排出量が減少しましたら、ドレンプラグを再度取付けてください（仮です）。 ※オイルゲージ交換においては、全部排油する必要はありません。		
2	オイルゲージ取り外し	<p>現在取付いているオイルゲージを取り外します。 表面が汚れている場合、拭き取ってください。 特に表面の六角部分はスパナの掛かり面となりますので形状がはっきりするまで掃除してください。</p>  <p>(参考写真)</p>		

No.	工程名	工程内容	注意点	確認原票
		<p>片口スパナあるいはモンキスパナを六角部分にしっかりと掛けて左回転（反時計回り）に回してください。</p>  <p>(参考写真)</p>	<p>オイルゲージは樹脂製です。半端掛けすると”なめり”ます。</p>	
3	ゲージねじ穴の掃除	<p>めねじ、オイルゲージ取付面を掃除・脱脂してください。</p> <p>※エアゾール系のパーツクリーナやアルコールは使用しないでください。少しでも残っていると樹脂に亀裂などを発生させます。</p> 		